

# 消 防 年 報

令和4年版

湯 浅 広 川 消 防 組 合

# はじめに

この消防年報は、湯浅広川消防組合の消防現勢と過去5年間の消防業務の実績、統計等を収録し、今後の施策の参考にするとともに、広く一般に消防行政の現況をご理解いただき、一層のご指導とご協力を願うため編集したものです。

当消防本部は、和歌山県の湯浅町、広川町の2つの町を管轄としています。

湯浅広川消防組合消防本部

湯浅町は、和歌山県の中央からやや北部に位置し、西は紀伊水道に面して、海と山に囲まれた町で、醤油醸造町としては全国初となる「重要伝統的建造物保存地区」を有しています。平成29年4月28日には、醤油醸造の発祥の地、紀州湯浅として醤油醸造文化のストーリーが日本遺産に認定されました。

16世紀末期頃に開発されたと言われる北町、鍛冶町、中町、浜町を中心とする醤油醸造業が最も盛んであった地区が、平成18年に保存地区として指定されています。

保存地区は、伝統的な木造住宅、土蔵が多く海からも近いことから住民の防災意識が高く、当地区から湯浅町初となる自主防災組織が結成されました。

現在では初期消火訓練、津波避難訓練等を計画的に実施し、他の自主防災組織の模範となりながら、防災活動に取り組んでいます。

また、湯浅町の深専寺には、安政元年（1854年）の南海地震で起こった津波の概要を記した記碑が建てられています。（和歌山県指定文化財）



重要伝統的建造物保存地区写真



大地震津波心得の記碑



この写真は広川町庁舎前に建てられている濱口梧陵翁の銅像です。

広川町が生んだ偉大な先覚者・濱口梧陵翁の業績を称え、明治30年小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）により「生ける神」なる物語として全世界に紹介され、昭和12年には文部省発行、小学校国語読本巻十（5年生用）に「稲むらの火」として紹介されていました。

平成30年5月、広川町の防災遺産「百世の安堵」が日本遺産に認定されました。「百世の安堵」という名称は、安政元年の津波被害から多くの人々を救った濱口梧陵の言葉「築堤の工を起して住民百世の安堵を図る」から付けられたものです。安政の津波が起きた11月5日は平成27年、国連により「世界津波の日」と定められました。

## 稲むらの火

「これはただ事ではない。」とつぶやきながら、五兵衛は家から出てきた。

----- 『稲むらの火』より抜粋 -----

安政元年（1854年）に広村（現在の広川町）を襲った大津波。

濱口梧陵は被災した人々のために敢然と立ち上がりました。彼の活躍ぶりを描いた「稲むらの火」からは当時の緊迫感がひしひしと伝わってきます。

梧陵は広村で分家濱口七右衛門の長男として生まれ、12歳の時に本家の養子として銚子（現在の千葉県）に移り家業であるヤマサ醤油の事業を継ぎました。

たまたま彼が広村に帰郷していたとき、突如大地震が発生し、紀伊半島一帯を大津波が襲いました。

彼は、稲むら（ススキや稲束を積み重ねたもの）に火を放ち、この火を目印に村人を誘導して、彼らを安全な場所に避難させました。しかし津波により村には大きな爪あとが残りました。

このかわり果てた光景を目にした梧陵は、故郷の復興のために身を粉にして働き、被災者用の小屋の建設、農機具・漁業道具の配給をはじめ各方面において復旧作業にあたりました。また、津波から村を守るべく長さ650m余り、高さ約5mの防波堤の築造にも取り組み、後の津波による被害を最小限に抑えました。

国政にも様々な活躍をしその功績をたたえる碑が、広川町内の各地に建立されています。

広川町では平成15年から「稲むらの火祭り」と称して、広川町役場前から広八幡神社まで参加者らが各自「たいまつ」を持って行進し、「自分の田の稲むらに火を放ち、村人の避難を呼びかけ押し寄せてくる津波から住民を救った」という濱口梧陵の偉功を後世に伝える行事を毎年開催しております。

現在、梧陵の精神は、地域住民及び湯浅広川消防組合の防災の精神的支柱として受け継がれています。



濱口梧陵翁の肖像



現在の堤防（梧陵堤）














「稲むらの火祭りから」

# 一目で分かる湯浅広川消防組合

管内情勢 人口・世帯数 消防予算				
	面積	人口	世帯数	消防予算(千円)
	湯浅町20.80km <sup>2</sup> 広川町65.35km <sup>2</sup> 計86.15km <sup>2</sup>	湯浅町11,172人 広川町 6,661人 計17,833人	湯浅町5,326世帯 広川町2,834世帯 計8,160世帯	462,834

組織・施設				
	本部・署	消防職員	消火栓	防火水槽
	消防本部 1 消防署 1	46名	579基	92基

車両				
	タンク車	ポンプ車	救急車	救助工作車
	1台	1台	2台	1台
				
	水難救助車	小型動力ポンプ積載車	消火・通報訓練指導車	その他 (防災指導車、広報車、軽多 目的車、人員搬送車)
	1台	1台	1台	4台

災害件数				
	火災	救急	救助	警戒
	7件	1,043件	20件	17件
				
	危険排除			
5件				

# 管内位置図



## 歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	井角 武雄	昭和57年 9月17日～昭和59年 1月22日	
2代	岡田 敏男	昭和59年 1月23日～昭和60年 7月11日	
3代	中 盾夫	昭和59年 7月12日～平成 5年 3月31日	
4代	竹内 久	平成 5年 4月 1日～平成 7年 1月 8日	
5代	須井 義和	平成 7年 1月 9日～平成 8年 3月31日	
6代	山崎 哲男	平成 8年 4月 1日～平成11年 6月30日	
7代	山家 修	平成11年 7月 1日～平成11年11月17日	
8代	上山 章善	平成11年11月18日～平成12年 3月31日	消防長事務取扱 (湯浅町助役)
9代	白倉 充	平成12年 4月 1日～平成14年 3月31日	消防長事務取扱 (広川町助役)
10代	寺西 義次	平成14年 4月 1日～平成15年 7月14日	
11代	黒川 博務	平成15年 7月15日～平成16年12月31日	
12代	三橋 雄作	平成17年 1月 1日～平成20年 3月31日	
13代	辻岡 尚男	平成20年 4月 1日～平成29年 3月31日	
14代	大西 和彦	平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日	
15代	上田 哲也	平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日	
16代	牛居 初穂	平成31年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
17代	梅本 哲生	令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
18代	大西 裕	令和 4年 4月 1日～現在	

## 歴代次長

歴代	氏名	在職期間	附記
6代	弓場 守	平成31年 4月 1日～令和 2年 3月31日	
7代	梅本 哲生	令和 2年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
8代	大西 裕	令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
9代	松下 光男	令和 4年 4月 1日～現在	

平成31年4月1日から次長署長の兼任を解く。

## 歴代署長

歴代	氏名	在職期間	附記
初代	大西 辰次	昭和57年 4月 1日～平成19年 3月31日	
2代	辻岡 尚男	平成19年 4月 1日～平成20年 3月31日	
3代	大西 和彦	平成20年 4月 1日～平成29年 3月31日	
4代	上田 哲也	平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日	
5代	牛居 初穂	平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日	
6代	須佐見 敏夫	平成31年 4月 1日～令和 3年 3月31日	
7代	竹中 隼人	令和 3年 4月 1日～令和 4年 3月31日	
8代	北山 智也	令和 4年 4月 1日～現在	

平成31年3月31日までは、署長が次長を兼任している。

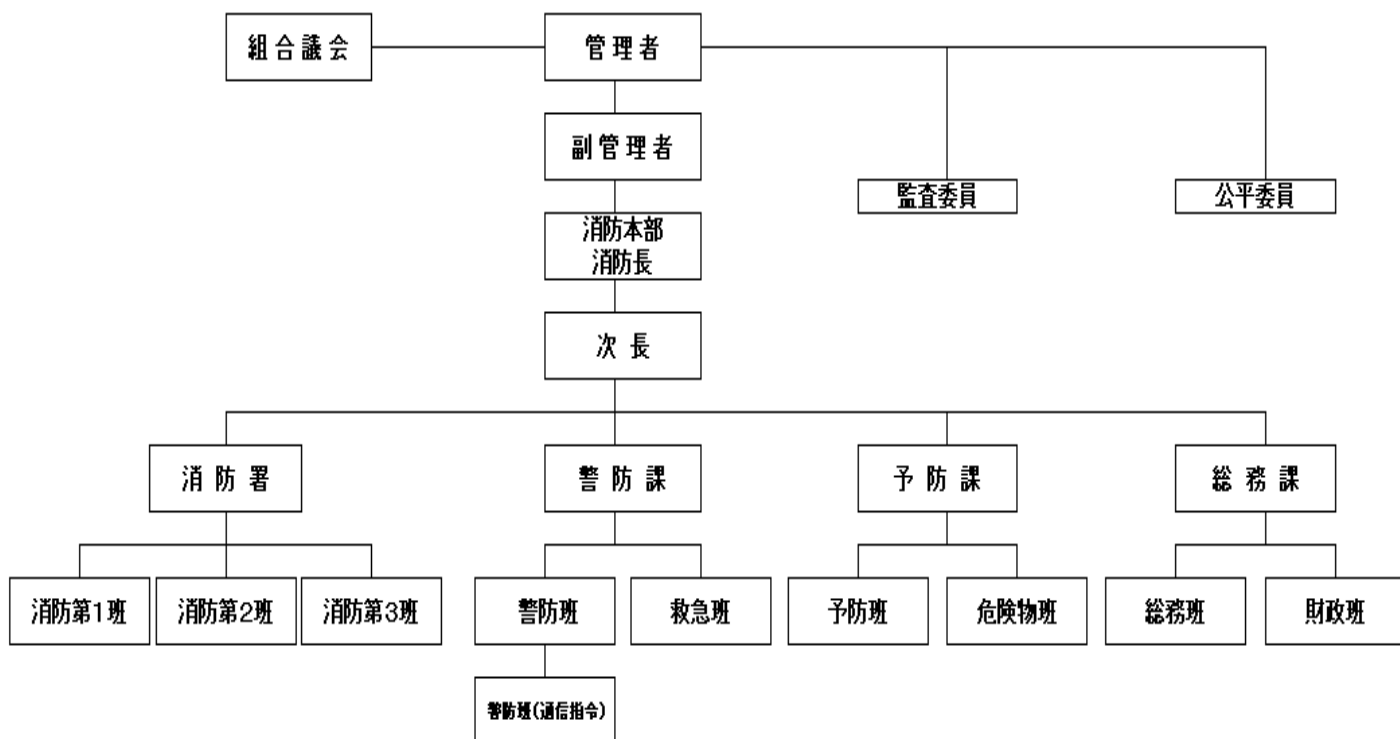
- 4月 管理者に 湯浅町長 上山 章善氏 就任  
消防長に 大西 裕 就任  
職員 2名再任用、新規採用職員 2名採用し県消防学校初任教育入校（総員 47名）
- 6月 第50回県下消防救助技術大会へ出場（8名）
- 8月 職員 1名指導救命士養成課程修了  
職員 1名退職（総員 46名）
- 9月 職員 2名県消防学校初任教育修了
- 10月 職員 1名県消防学校潜水救助教育修了  
職員 1名県消防学校専科教育自然災害対応教育修了  
職員 1名兵庫県消防学校専科教育危険物科修了
- 12月 職員 2名県消防学校専科教育火災調査科修了

総

務



## 湯浅広川消防組合の機構



## 消防庁舎の現況

湯浅広川消防組合消防本部 電話 (0737) 64-0119  
 湯浅広川消防組合消防署 FAX (0737) 63-6626  
 地域防災センター

所在地 : 和歌山県有田郡湯浅町大字青木670番地  
 本庁舎 : 延べ面積 930.57㎡  
 防災センター : 延べ面積 299.56㎡  
 車庫 : 延べ面積 356.63㎡  
 訓練塔 : 延べ面積 162.25㎡  
 補訓練塔 : 延べ面積 36.00㎡  
 自家給油取扱所 : 10kl地下タンク(ガソリン6,000ℓ、軽油4,000ℓ)  
 太陽光発電設備 : 太陽光発電設備10kW・蓄電池設備15kW

## 管内面積、人口及び世帯数

(令和4年 12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
面積	20.80km <sup>2</sup>	65.35km <sup>2</sup>	86.15km <sup>2</sup>
人口	11,172	6,661	17,833
世帯数	5,326	2,834	8,160

# 消防予算

4月1日基準の人口・世帯数

	消防組合 決算額 (千円)	構成町一般会計 決算総額 (千円)	構成町消防費 決算総額 (千円)	人口 (人)	世帯数 (戸)
令和元年度	466,536	16,336,236	602,889	19,033	8,255
令和2年度	432,676	19,835,333	597,630	18,711	8,231
令和3年度	459,535	17,704,546	707,810	18,394	8,218
令和4年度	462,834	14,412,337	622,330	18,037	8,143

※ 令和4年度のみ当初予算

## 職員の階級別勤続年数

(令和4年12月31日現在)

	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
5年未満					3	12	15
5年以上～10年未満				1	3	2	6
10年以上～15年未満			2	1	1		4
15年以上～20年未満			1	1			2
20年以上～25年未満			2				2
25年以上	1	7	8	1			17
合計	1	7	13	4	7	14	46

## 職員の階級別年齢状況

(令和4年12月31日現在)

	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	計
25歳未満						10	10
25歳以上～30歳未満					4	4	8
30歳以上～35歳未満				1	3		4
35歳以上～40歳未満			2	2			4
40歳以上～45歳未満			3				3
45歳以上～50歳未満			5				5
50歳以上～55歳未満		3	1				4
55歳以上～60歳未満	1	3					4
60歳以上		1	2	1			4
合計	1	7	13	4	7	14	46

## 消防本部職員配置表

( 令和4年 12月31日現在)

\	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防長	1						1
次長		1					1
課長		3					3
副課長		2					2
総務班長			1				1
財政班長			1				1
総務係長			1				1
財政主任			1				1
総務係員					1	2	3
財政係員					2		2
予防班長			1				1
危険物班長			1				1
予防係長			1				1
危険物係長			1				1
予防主任			1				1
危険物主任							0
予防係員					1	1	2
危険物係員					1	1	2
警防班長			2				2
救急班長			1				1
警防係長				2			2
救急係長				1			1
警防主任				1			1
救急主任							0
警防係員						8	8
救急係員					2	2	4
合 計	1	6	12	4	7	14	44

## 消防署職員配置表

\	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
署長		1					1
副署長			1				1
消防班長			2				2
消防副班長			3				3
消防班員			4	3	7	12	26
合 計	0	1	10	3	7	12	33

# 消防職員の資格取得状況

( 令和4年 12月31日現在)

	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
大型第1種		3	4	1			8
大型特殊		1	1				2
普通第1種 (準中型・中型第1種を含む)	1	7	13	4	7	14	46
小型船舶操縦士		3	10	2	2		17
小型移動式クレーン	1	6	13	3	7	5	35
救急Ⅰ課程	1	6	2	1			10
救急Ⅱ課程	1	6	2	1			10
救急標準課程		1	11	3	7	11	33
救急救命士		3	5	1	3	1	13
特殊無線技士	1	7	13	4	7	14	46
消防設備士(乙種)			3				3
危険物取扱者 (甲,乙,丙)		5	7			2	14
酸素欠乏 危険作業主任者	1	2	6				9
ガス溶接技能講習	1	2	3	2			8
アーク溶接業務 特別教育	1	1	2				4
玉掛け技能講習	1	4	13	3	7	5	33
足場組立作業主任者			1				1
自動車3級整備士		2					2
フォークリフト技能講習	1	1	1				3
第2種電気工事士			2				2
特定化学物質等 取扱作業主任者			1				1
潜水士		1	10	3	6	3	23
救助潜水訓練士			4				4
予防技術検定 (危険物)	1	3	5	1	1		11
予防技術検定 (設備)	1	3	3				7
予防技術検定 (査察)	1	3	5	1	1		11

予

防

# 防火対象物の現況

( 令和4年 12月31日現在)

町別		湯 浅 町	広 川 町	計	
1 項	イ	映画館・観覧場等	1		1
	ロ	公会堂・集会場等	12	17	29
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール等	1		1
	ハ	性風俗特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1		1
3 項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店等	6	1	7
4 項		百貨店・マーケット等	16	1	17
5 項	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	11	5	16
	ロ	共同住宅・寄宿舎・下宿等	46	11	57
6 項	イ	病院・診療所・助産所等	6	3	9
	ロ	老人福祉施設等（要介護者入居施設等）	6	6	12
	ハ	老人福祉施設等（ロ以外の施設等）	8	7	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1	1	2
7 項		小・中・高・大 学校等	8	8	16
8 項		図書館・博物館等	1	4	5
9 項	イ	特殊浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	1	2
10 項		車両以外の停車場等	0		
11 項		神社・寺院・教会等	3	1	4
12 項	イ	工場・作業場等	37	28	65
	ロ	テレビ・映画スタジオ等			
13 項	イ	自動車車庫・駐車場等	7	1	8
	ロ	飛行機等の格納庫			
14 項		倉庫等	23	13	36
15 項		前各号に該当しない事業所	45	14	59
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	37	7	44
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	3	3	6
17 項		重要文化財等	9	6	15
合 計			289	138	427

## 消防用設備設置件数

(過去5年間)

区分		年別	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年
消火設備	消 火 器		7	6	7	4	12
	屋 内 消 火 栓 設 備		4	2	2	2	2
	屋 外 消 火 栓 設 備						
	ス。リ。ン。ク。ラ。ー。設。備					1	1
	粉 末 消 火 設 備 等		1	1			
警報設備	特 殊 消 防 用 設 備 等						
	自 動 火 災 報 知 設 備		10	12	5	10	11
	非 常 警 報 設 備		5		3	1	4
	漏 電 火 災 警 報 器						
避難設備	消 防 通 報 火 災 報 知 設 備		9	1		1	3
	避 難 器 具			1	1	3	1
	誘 導 灯		6	9	6	5	8
合 計			42	32	24	27	42

## 予防関係届出処理状況

(過去5年間)

区分		年別	平成	令和	令和	令和	令和
			30年	元年	2年	3年	4年
消防関係	防火管理者選任（解任）任届		29	29	23	18	26
	消防計画作成（変更）届		24	29	26	17	24
	工事整備対象設備着工届		20	12	16	9	12
	消防用設備等設置届		34	27	36	21	35
	消防用設備等点検結果報告書		109	139	159	157	201
火災予防関係	圧縮アセチレンガス等貯蔵又は取り扱いの開始届		3	2	1	1	4
	防火対象物使用開始届		4	5	5	7	8
	炉、かまど、ボイラー等設置届		0	5	6	8	4
	変電、発電、蓄電池設備設置届		7	4	22	16	9
	水素ガスを充填する気球の設置届						
	火災とまぎらわしい煙等の届		33	33	37	38	49
	煙火打ち上げ届				4	1	1
	水道断水・減水届出書			4	1		
	道路工事・占有届			29	37	35	48
	少量危険物、指定可燃物貯蔵届		5	5	9	4	7
産業保安	催物開催届			2	3	3	1
	液化石油ガス関係		15	22	8	7	10
	火薬類関係		7	32	22	7	11
	高圧ガス関係		6	4	6	3	5
合 計			296	383	421	352	455

## 広報実施状況

主な広報活動	実施時期	令和4年
立て看板、ポスターの設置	春、秋	2
横断幕、防火のぼりの設置	〃	2
街頭広報（車両による巡回）	〃	2
町放送、有線放送による広報	〃	2

## 訓練指導状況

(過去5年間)

区分		年別	平成	令和	令和	令和	令和
			30年	元年	2年	3年	4年
消火訓練			34	20	18	6	16
避難・通報訓練			29	26	35	26	36
総合訓練			49	62	48	39	56
防火映画等			10	1	6	8	8
起震車・煙体験			4	4	2	0	1
合 計			126	113	109	79	117

## 建築確認同意事務処理状況

(過去5年間)

種別	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
		新築	11	13	12	19
増築	1	1	1	1	2	
改築						
その他						
合計		12	14	13	20	13

## 建築確認同意事務町別状況

(過去5年間)

種別	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
		湯浅町	10	9	8	17
広川町	2	5	5	3	4	
合計		12	14	13	20	13

## 建築確認用途別申請内訳

(過去5年間)

用途	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
		公会堂・集会場等			1	1
飲食店等						
物品販売店舗等	1	1			2	
旅館・ホテル等		2				
共同住宅等	1		2			
病院・診療所等						
老人福祉施設等			2			
学校等					1	
図書館・博物館・美術館等			1	1		
神社・寺院・教会等						
工場・作業場等	3	5		1	1	
車庫・駐車場等		2				
倉庫等	3	3	1		1	
事務所等			1	6	3	
複合用途防火対象物	2		3	3		
専用住宅			1	3		
併用住宅						
その他の工作物等	2	1	1	5	5	
合計		12	14	13	20	13



## 危険物施設数

(令和4年 12月31日現在)

施設区分		町別		
		湯浅町	広川町	計
貯蔵所	屋内貯蔵所	2	2	4
	屋外タンク貯蔵所	6	6	12
	屋内タンク貯蔵所			
	地下タンク貯蔵所	14	1	15
	移動タンク貯蔵所	7	8	15
	屋外貯蔵所	1		1
	簡易タンク貯蔵所		1	1
	小計	30	18	48
取扱所	給油取扱所	15	7	22
	一般取扱所	8	1	9
	小計	23	8	31
合計		53	26	79

## 危険物関係申請、届出受理状況

(過去5年間)

区分	年別				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
設置許可申請	2	1	3	4	4
変更許可申請		1	5	7	3
完成検査申請	2	3	8	10	5
仮使用承認申請		1	5	6	1
完成検査前検査申請					
譲渡引渡届	1			1	1
種類・数量変更届		1		1	1
保安監督者選解任届	15	2	3	7	28
住所・氏名変更届	4	1		6	4
軽微な変更届	13	7	5	3	9
休廃止届	1	7		1	8
合計	38	24	29	46	64

## 立入検査等実施状況

(過去5年間)

区分		年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1項	イ	映画館・観覧場等	2				
	ロ	公会堂・集会場等	12				
2項	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール等					
	ハ	性風俗店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3項	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店等	5	62			
4項		百貨店・マーケット等	1	4			1
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	3	5		1	
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	9				
6項	イ	病院・診療所・助産所	1	2			1
	ロ	老人福祉施設等(要介護者入居施設等)	3	6			
	ハ	老人福祉施設等(ロ以外の施設等)	11	1			
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	2				
7項		小・中・高・大学校等	13				
8項		図書館・博物館等	2				
9項	イ	特殊浴場等					
	ロ	イ以外の公衆浴場					
10項		車両以外の停車場等					
11項		神社・寺院・教会等					
12項	イ	工場・作業場等					
	ロ	テレビ・映画スタジオ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場等					
	ロ	飛行機等の格納庫					
14項		倉庫等					
15項		事業所等	6				
16項	イ	特定複合用途防火対象物	12			1	1
	ロ	イ以外の複合用途	13				
17項		重要文化財等		9			14
合 計			95	89	0	2	17

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
危険物施設	15	23	3	22	49

## 防火対象物定期点検報告及び特例認定状況

(過去5年間)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
防火対象物定期点検	3	2	4	3	7
特例認定		2		1	2

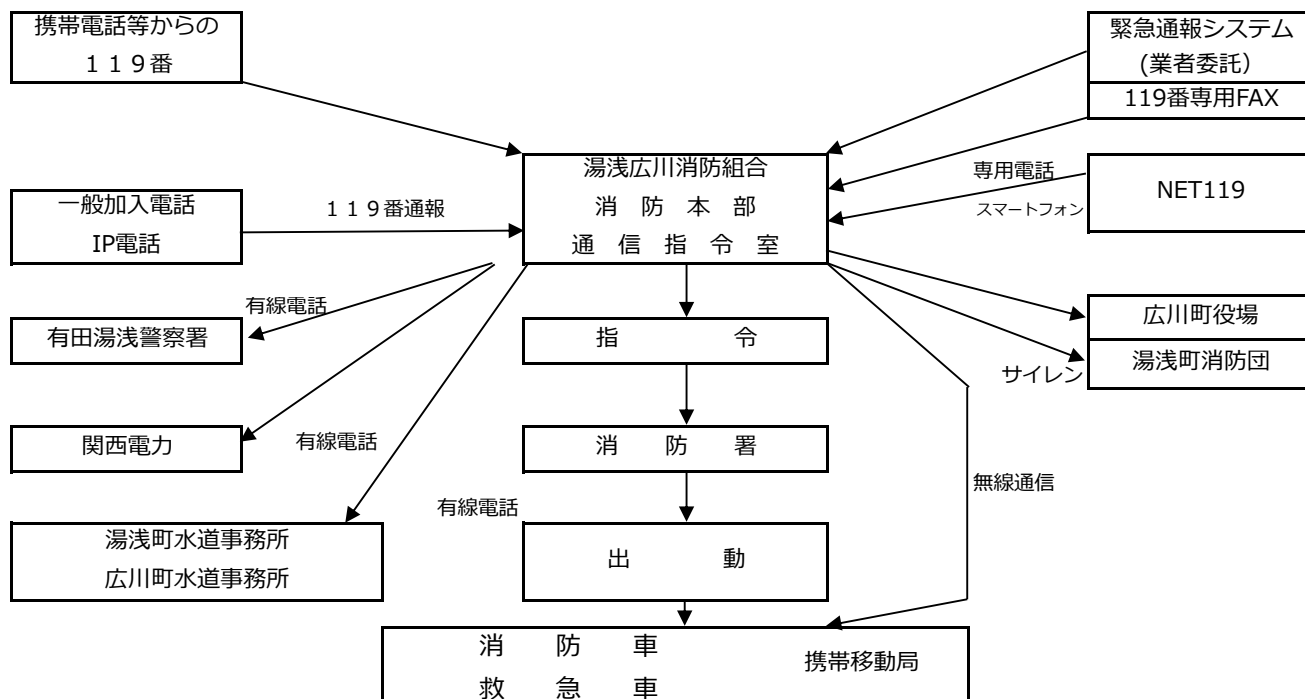
## 防火管理の状況

項別		区分	法 8 対象物	選任済対象物	消防計画届出
1 項	イ	映 画 館 ・ 観 覧 場 等	1	1	1
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場 等	27	13	13
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊 技 場 ・ ダンスホール等	1	1	1
	ハ	性風俗特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	1
3 項	イ	待 合 ・ 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店 等	4	4	3
4 項		百 貨 店 ・ マーケット等	14	9	8
5 項	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所 等	8	8	7
	ロ	共同住宅・寄宿舎・下宿等	10	10	6
6 項	イ	病院・診療所・助産所等	3	3	3
	ロ	老人福祉施設等（要介護者入居施設等）	12	11	11
	ハ	老人福祉施設等（ロ以外の施設等）	11	11	11
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	2	2	2
7 項		小・中・高・大学校等	12	12	12
8 項		図書館・博物館等	4	4	4
9 項	イ	特殊浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	1	1
10 項		車両以外の停車場等			
11 項		神社・寺院・教会等	2	1	1
12 項	イ	工場・作業場等	4	3	3
	ロ	テレビ・映画スタジオ等			
13 項	イ	自動車車庫・駐車場等			
	ロ	飛行機等の格納庫			
14 項		倉庫等			
15 項		前各号に該当しない事業所	13	12	10
16 項	イ	特定複合用途防火対象物	22	19	18
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2	2	2
17 項		重 要 文 化 財 等	4	4	4
合 計			159	132	122

敬  
言

防

# 消防通信系統図



## 無線電話保有状況

アナログ無線			
局別	区別	出力	本部・署
携帯移動局		5W	3基

デジタル無線			
局別	区別	出力	本部・署
基地局		10W	2基
移動局		10W	12基
移動局(携帯)		5W	12基
可搬式移動局		10W	1基

署活波		
携帯移動局	出力	本部・署
	1W	12基

## 有線電話等保有状況

種別	本部・署(回線)
火災、救急専用電話(119番)	2
救急医療情報システム	1
119番専用ファクシミリ	1
一般加入電話	3
各課直通加入電話	5
広川町役場専用電話	1
西日本高速道路(株)業務用電話	1
携帯電話(本部用、救急用)	4
タブレット端末	2
衛星電話	1
和歌山県総合防災情報システム	1

## 消防相互応援協定

( 令和4年 12月31日現在)

	協 定 名 締 結 年 月 日	協 定 機 関	応 援 内 容
1	日高広域消防事務組合、湯浅広川消防組合 消防相互応援協定  昭和63年 1月14日	日高広域(事)消防本部	消火・救急・救助業務資器材の援助
2	和歌山県防災ヘリコプター応援協定  平成8年 2月22日	県下の市町村及び消防の一部の事務組合	消防組織法第一条に規定する水火災又は地震等の災害
3	和歌山県下消防広域相互応援協定  平成8年 3月 1日	県下の市町村及び消防の一部事務組合	大規模な自然災害、大規模火災及び特殊火災、大規模又は特殊な事故、その他応援を必要とする災害
4	有田市・湯浅広川消防組合・有田川町消防相互応援協定  平成18年 4月 1日	有田川町消防本部  有田市消防本部	消火・救急・救助業務
5	阪和自動車道、湯浅御坊道路、関西空港自動車道及び京奈和自動車道消防相互応援協定  平成29年 3月18日	[和歌山県] 和歌山市・岩出市・海南市・有田川町・湯浅町・広川町・日高川町・御坊市・印南町・みなべ町・田辺市 [大阪府] 堺市・和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市・阪南市	消火・救急・救助業務

## 消防水利の現況

( 令和4年 12月31日現在)

	湯浅町	広川町	合計
公設消火栓	335	244	579
防火水槽	51	41	92
その他(プール)	8	5	13
	湯浅、田、山田、田栖川吉川分校、各小学校 湯浅中学校 耐久高等学校 宝栄水泳プール	広、南広、津木、各小学校 たちばな支援学校 B&Gプール	

## 主力機関の紹介



タンク車

車名 日野  
年式 平成29年式  
車両番号 和歌山800す996  
ポンプ級 A-2



ポンプ車

車名 トヨタ  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山800さ6341  
ポンプ級 A-2



救助工作車

車名 日野  
年式 令和元年式  
車両番号 和歌山800す2066



高規格救急車①

車名 トヨタ  
年式 平成22年式  
車両番号 和歌山830て99



高規格救急車③

車両 トヨタ  
年式 平成29年式  
車両番号 和歌山830す993



水難救助車

車名 トヨタ  
年式 平成22年式  
車両番号 和歌山800さ8144



人員搬送車

車名 ニッサン  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山800さ6318



小型動力ポンプ積載車

車名 ダイハツ  
年式 令和3年式  
車両番号 和歌山880あ2416



軽多目的車

車名 スズキ  
年式 令和元年式  
車両番号 和歌山880あ2118



広報車

車名 ニッサン  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山800さ6464



防災指導車

車名 ニッサン  
年式 平成30年式  
車両番号 和歌山501て2332



消火・通報訓練指導車

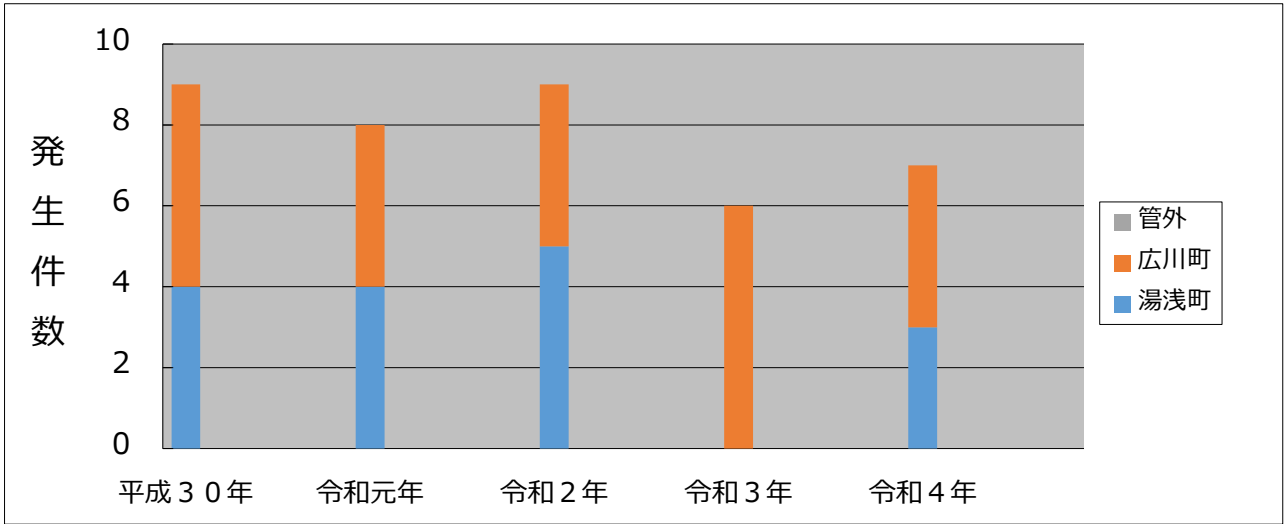
車名 マツダ  
年式 平成19年式  
車両番号 和歌山100さ7331

火

災



## 火災発生の推移



		年別				
		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
町別	湯浅町	4	4	5	0	3
	広川町	5	4	4	6	4
管外		0	0	0	0	0
合計		9	8	9	6	7

## 町別火災種別状況

町名	火災種別						
	年別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
湯浅町	平成30年	1				3	4
	平成元年	4					4
	令和2年	4				1	5
	令和3年						0
	令和4年	2				1	3
広川町	平成30年	4				1	5
	平成元年	2	1			1	4
	令和2年	1		1		2	4
	令和3年	2				4	6
	令和4年	2				2	4

## 火災の概況

区分		年別	令和3年	令和4年	増減
火災件数	建物火災		2	4	2
	林野火災				
	車両火災				
	船舶火災				
	その他火災		4	3	△ 1
	合計		6	7	1
損害額（千円）			11,401	43,001	31,600
焼損棟数	全焼		1	2	1
	半焼				
	部分焼		1	3	2
	ぼや			1	1
	合計		2	6	4
焼損面積	建物	床面積（㎡）	1188	528	△ 660
		表面積（㎡）			
	林野（a）				
死傷者	死者				
	負傷者			1	1
り災世帯数			1	4	3
り災人員			1	7	6

## 火災覚知別表

覚知別	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
火災専用電話 119		2	2	2	2	
一般加入電話		1				1
警察通報					1	
事後覚知				1		
火災専用電話（携帯）		6	5	6	3	6
一般加入電話（携帯）			1			
その他						
合計		9	8	9	6	7

## 曜日別火災状況

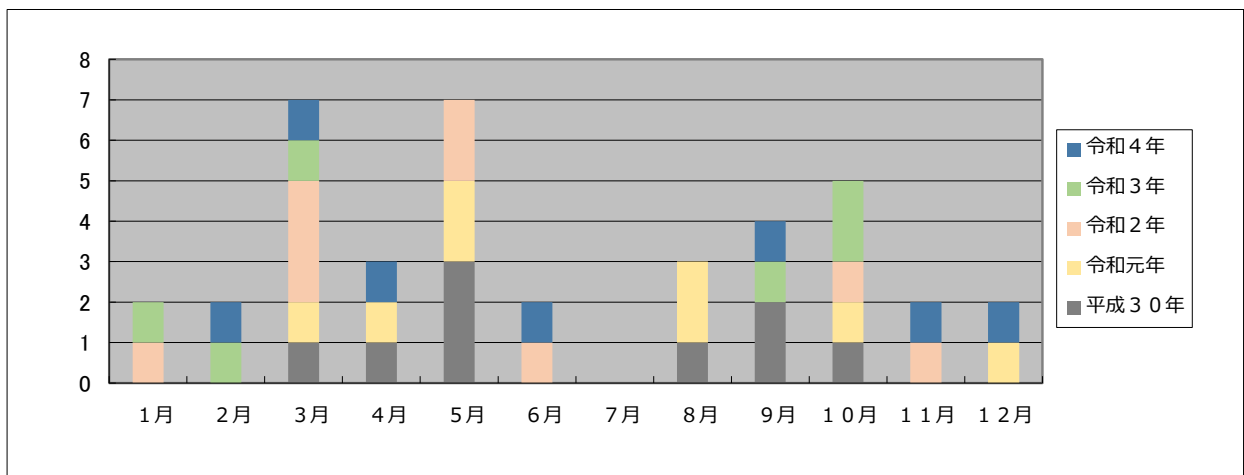
曜日	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
日		1	3		1	1
月		1	3	1	1	1
火		2		1	2	1
水			1	3		
木		2		1	1	1
金		2		1	1	
土		1	1	2		3
不明						
合計		9	8	9	6	7

## 出火時刻別火災状況

時間	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
0 ~ 1		1				
1 ~ 2				1		
2 ~ 3						
3 ~ 4						
4 ~ 5						
5 ~ 6						
6 ~ 7			1			
7 ~ 8						
8 ~ 9		2			1	
9 ~ 10		1		1		
10 ~ 11			1	1	1	1
11 ~ 12					1	1
12 ~ 13				1		2
13 ~ 14			1			
14 ~ 15		1	1			
15 ~ 16		1				2
16 ~ 17		1			2	
17 ~ 18		1	2	1		
18 ~ 19				1		
19 ~ 20				1		
20 ~ 21		1		1		1
21 ~ 22					1	
22 ~ 23			1			
23 ~ 0			1			
不明				1		
合計		9	8	9	6	7

## 月別火災状況

月別 \ 年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1月			1	1	
2月				1	1
3月	1	1	3	1	1
4月	1	1			1
5月	3	2	2		
6月			1		1
7月					
8月	1	2			
9月	2			1	1
10月	1	1	1	2	
11月			1		1
12月		1			1
合計	9	8	9	6	7

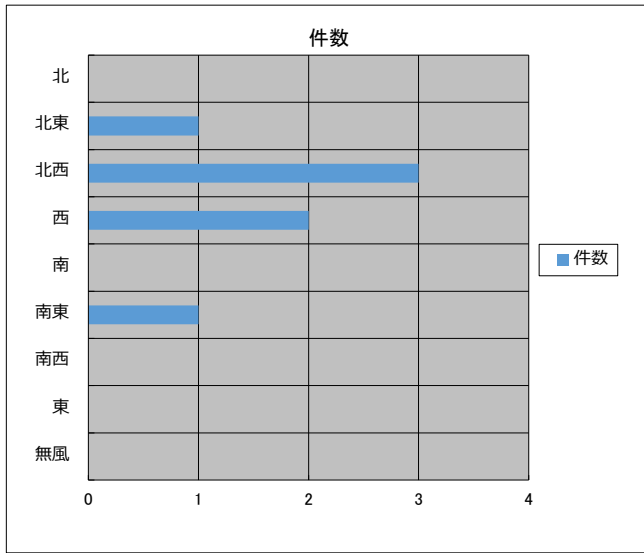


## 出火原因別火災状況

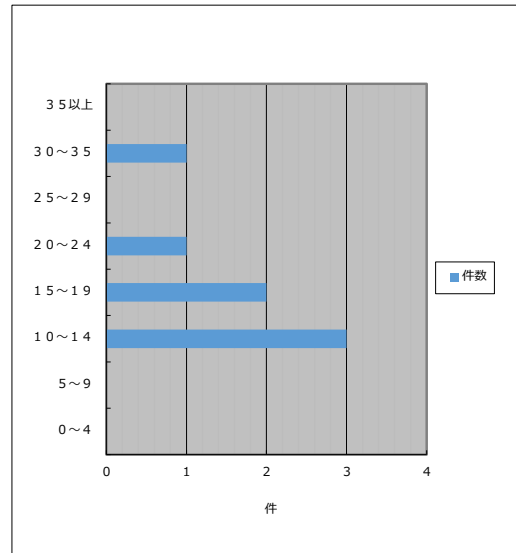
原因 \ 年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
たばこ	1				1
ガスコンロ		1	1		1
ガスバーナー					
配線器具	1	1	1		
火遊び	1		1		
マッチ・ライター					
たき火	3	1	1		
溶接機・切断機	1				
放火		1	1		
放火の疑い					
飛び火			2	2	2
再燃					
その他	2		1	4	3
不明		4	1		
管外(不明)					
合計	9	8	9	6	7

# 気象別火災状況（令和4年中）

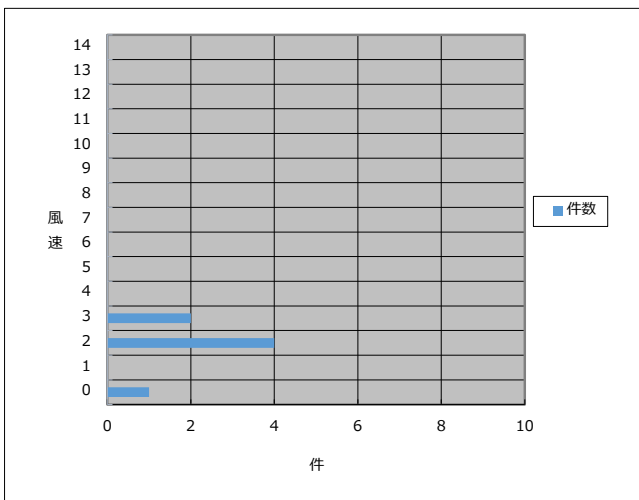
風向別件数



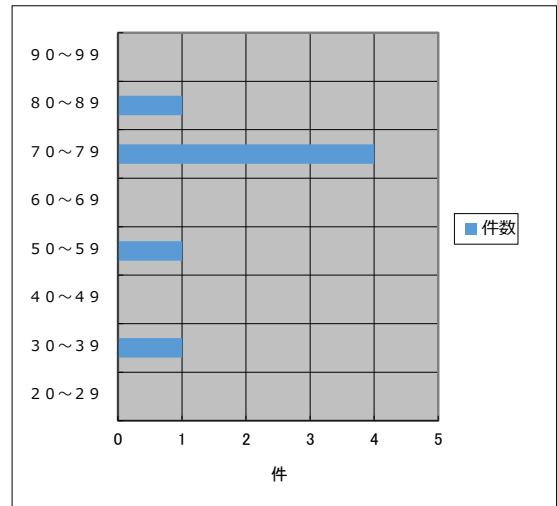
気温別件数



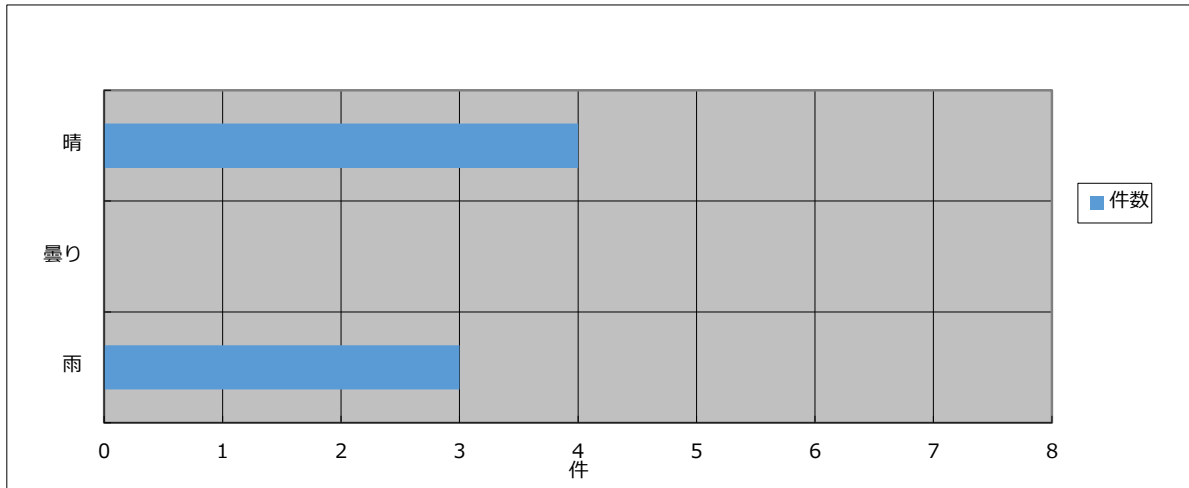
風速別件数



湿度別件数



天気別件数



## その他の出動状況

### 危険排除出動件数

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	9	11	4	5	5

### 警戒出動件数

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	17	18	15	10	17

### 蜂の巣駆除出動件数

年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	4	6	0	0	0

救

急

## 程度別搬送状況

年別 程度	平成30年 (人)	令和元年 (人)	令和2年 (人)	令和3年 (人)	令和4年 (人)
死亡	32	31	25	29	38
重症	155	111	130	114	106
中等症	413	414	362	400	402
軽症	427	469	380	385	422
その他	3	0	0	0	0
合計	1,030	1,025	897	928	968

## 病院照会件数

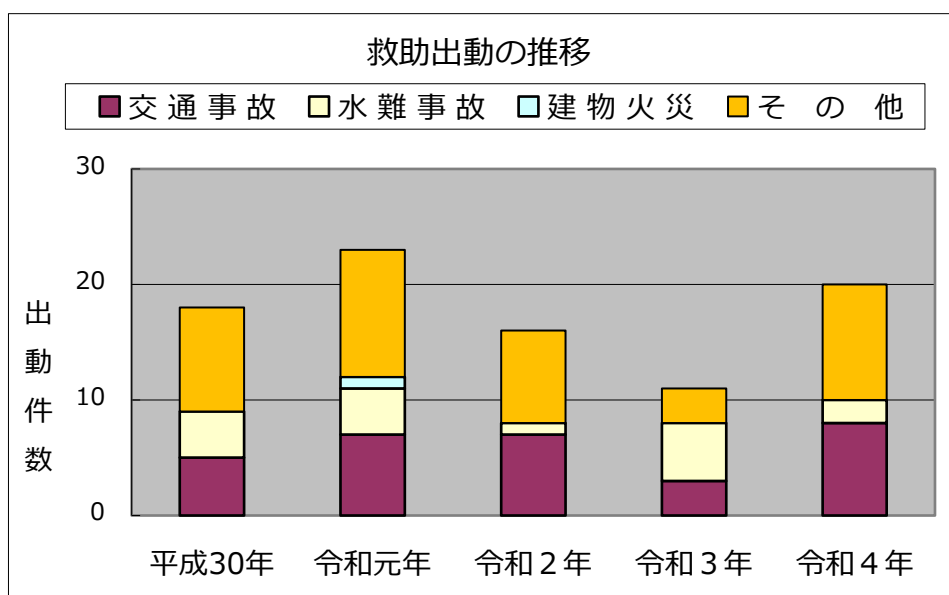
年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
件数	152	181	152	82	70



救

助

## 救助出動の推移



種別 \ 年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
交通事故	5	7	7	3	8
水難事故	4	4	1	5	2
建物火災	0	1	0	0	0
その他	9	11	8	3	10
合計	18	23	16	11	20

## 月別救助出動状況

月別 \ 年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1月	0	0	1	1	0
2月	1	1	1	1	2
3月	2	2	3	4	2
4月	1	2	2	0	1
5月	0	5	2	2	1
6月	0	3	0	0	4
7月	2	1	3	0	4
8月	4	2	1	1	0
9月	2	2	0	1	2
10月	2	1	3	0	3
11月	3	0	0	1	0
12月	1	4	0	0	1
合計	18	23	16	11	20

# 救助資器材一覧表

省令別表第一に掲げる救助器具

(令和4年 12月31日現在)

器 材 名	
一般救助器具	かぎ付きはしご 三連ばしご ワイヤはしご 滑車 救命索発射銃 サバイバースリング 平担架 ロープ カラビナ
器排重量具除物	マンホール救助器具 可搬ウィンチ ワイヤーロープ
器切断具	鉄線カッター 油圧切断機 エンジンカッター チェーンソー
器隊員保護具用	防毒マスク 携帯警報器 革手袋 耐電手袋 安全带 防塵めがね
用保呼吸具	空気呼吸器

器 材 名	
水難救助用器具	潜水器具一式 潜水救助器具一式 救命胴衣 水中投光器 救命浮環 浮環 救命ボート 船外機 水中無線機 水中時計
器破壊用具	万能斧 ハンマー 携帯用コンクリート破壊器具
器測定用具	可燃性ガス測定器
救助用器具のその他	投光器一式 携帯拡声器 携帯無線機 車両移動器具 応急処置用セット バスケット担架 その他の携帯救助工具

省令別表第二に掲げる救助器具

器 材 名	
器排重量具用物	マット型空気ジャッキ一式 大型油圧スプレッダー 救助用支柱器具
器切断具用	空気のごぎり 大型油圧切断機 空気切断機
器破壊用具用	削岩機

器 材 名	
器保護具用呼吸	防塵マスク 送排風機
器保護具用隊員	耐電長靴
用のその他救助器具	発電機

省令別表第三に掲げる救助器具

器 材 名	
用救高度器具	熱画像直視装置

## 消防年報令和4年版

令和5年3月発行

編集・発行

和歌山県有田郡湯浅町大字青木 670番地

湯浅広川消防組合消防本部

T E L ( 0 7 3 7 ) 6 4 - 0 1 1 9

F A X ( 0 7 3 7 ) 6 3 - 6 6 2 6

<http://yuasahirogawa.sakura.ne.jp/>

E - m a i l : fd119@juno.ocn.ne.jp